

# 大荒にごみ処分場つくるな 「市民の会」準備会が県と市に要請



鶴岡市に要請を行う「大荒地内市ごみ最終処分場を考える市民の会」準備会の一行(1月27日、鶴岡市役所)

県は「市から計画出された時点で適切に対応したい」と答弁

県庄内総合支庁への要請では、賛同人の佐藤安太郎さん(上郷)が要望書を手渡し、内容を訴えました。

対応した長澤環境課長は、「鶴岡市から事業計画の届け出書が提出された時点で、アセスメント(事前影響評価)があり、その時点で適切に対応したい」と答弁しました。

同席した農業関係者からは、「水源地であるため、水不足や水質など流域の水田農業に影響があるのでないか」「予定地での木の

## 「大荒地内市ごみ最終処分場を考える市民の会」準備会の要望4項目

①鶴岡市大荒地内は「水資源保全地域」として県から指定され、大戸川・大山川上流の貴重な水源地であり、清澄で豊富な水供給地である大荒地内に市の一般廃棄物最終処分場は絶対つくらないでください。

②大荒の地元住民は、今の安全・安心な里山の自然と生活環境を、そのまま若者や子孫に受け継いでゆきたいと強く思っています。地元自治会や住民の合意を得ることができない、この度の建設計画は速やかに白紙撤回し、取り下げてください。

③大荒地内には県指定の埋蔵史跡文化財「荒沢・須恵器の窯跡」群が保存されており、史跡のある丘陵地一体と周辺の山林環境・原風景を保存・保全してゆく上で、最終処分場との両立はとても困難であり、絶対つくらないでください。

④鶴岡市は昨年10月頃から地元住民の了解を得ない状況下で候補地の現地調査を行うと言明し、一部強行しました。今後、地元住民の了解・合意の得られない現地調査を強行することは絶対やめていただきたい。

鶴岡市への要請では、賛同人の五十嵐淳一さん(西郷)が要望書を佐藤市民部長に手渡し、参加者がそれぞれ訴えました。

また、「過去にゴルフ場建設計画や養豚場建設で、集落が分断された辛い経験が今もある。これ以上、私たちが苦しめないでほしい」と切実な胸の内が訴えられました。

「なぜ他候補地検討せぬ」「災害時の責任は」に答えず

市民部長は「要望内容を市長に伝える」と述べた上で、現地調査などを行った経緯として「市が行った聞き取り調査では、地元の賛成が半数を超えていると認識した」と発言。

「日常生活に憲法を生かそう～憲法は誰が守る規則か～」

生命を生み出す母親は生命を育て生命を守ることをのぞみます

第58回 田川地区母親大会  
2月11日(土)午後1時30分～3時30分  
鶴岡市勤労者会館 1階ホール  
資料代：300円

講演  
「日常生活に憲法を生かそう～憲法は誰が守る規則か～」  
講師 齋藤英夫氏  
(元県立高校社会科教諭、現山形県消防学校講師「法学(基礎)」担当)  
主催：田川地区母親大会実行委員会 25-3322 生協組織部





# 三川町議選5日投票開票

## 田中あきら候補2期目に挑戦

### 学校給食・18歳以下医療費無料化訴える

1月31日、三川町議  
会議員選挙が告示され  
ました。

日本共産党から田中  
あきら氏が2期目の当  
選を目指して立候補  
し、地元の押切上町公  
民館前で第一声を上げ  
ました。



第一声で訴える田中あきら候補

田中候補は、学校給  
食の無料化、子どもの  
医療費18歳までの無料  
化、デマンドタクシー  
の充実などを公約を示  
し支持を訴えました。  
第一声には地元の住

民など20人が参加。佐  
藤政弥選対本部長が  
「学童保育の建設など  
実績のある田中候補を  
必ず町政に」と訴えま

した。

加藤太一市議は「野  
党共闘で新しい政治の  
流れを確かに・大きく  
するためには田中候補を  
落とす訳にはいかな  
い。安倍暴走政治に他  
方からモノが言える田  
中候補を当選させて下  
さい」と訴えました。

5日の投票日に向け  
て定数10人に11人が立  
候補。一人はみ出しの  
大激戦です。  
佐藤本部長は「三川  
町の知り合いに田中候  
補の支持を広げて下さ  
い」と訴えています。



1月28日、「日本共産党新春のつどい」が開催され、160人が参加しました。紙智子参議院議員が駆けつけ、第27回党大会や国会報告をしました。間近に迫った三川町議選で2期目をめざす田中あきら候補をはじめ長谷川つよし山形3区候補、関徹県議、鶴岡市議が決意を述べました。

(1面のつづき)  
「他に8カ所の候補  
地があったというが、  
なぜ公表し検討しない  
のか」「万が一、災害  
などによって流域に影  
響が及んだ時は、だれ  
が責任を取るというの  
か」など質問には明確  
な答弁はありませんで  
した。  
この問題について  
は、日本共産党市議団  
も問題視し、議会でも  
質してきました。  
要請行動には菅井巖  
市議も同行し「地元住  
民の合意が得られてい  
ない。他の候補地を検  
討すべき」と述べ、県  
要請に同席した関徹県  
議は水資源保全地域の  
環境保全の観点からの  
影響を質しました。  
準備会メンバーは、  
引き続き大荒地区への  
ごみ最終処分場計画撤  
回を求め、水源地流域  
の農業関係者や住民に  
も働きかけ、今後正式  
に「市民の会」を発足  
させることとしていま  
す。

土木課入札結果 ( ) 内は予定価格	
1月26日入札分	
・市道八久和線上名川トンネルほか補修設計業務(上名川地内ほか)(入札13業者うち3業者辞退)	(株)CPC 2,800,000円 (3,382,000円)
期間~3/24 (落札率82.8%)	
・東新斎町青柳町線道路改良工事(新海町地内)(入札4業者)	(有)大泉建設 3,130,000円 (3,202,000円)
工期~3/27 (落札率97.8%)	
藤島庁舎入札結果 ( ) 内は予定価格	
1月26日入札分	
・平成28年災 33-102大揚井堰頭首工災害復旧工事(繰越明許)(添川字川代地内)	中止

## 一人ひとりのエネルギー

☆1月21日(土)やまがたエネ  
ルギーネットワーク(略称「やま  
エネネット」)主催の学習会に参  
加し、「おらって」にいがた市民  
エネルギー協議会」代表の方のお  
話を聴講。市民が資金を集め、一  
昨年から既に20か所の再生可能エ  
ネルギー発電事業を創出。「自ら  
エネルギーのあり方を考え、地域  
の自然と伝統を活かしながら、多  
くの人びととともに新しい新潟の未  
来をつくっていく」とする会の運  
動は、再生可能エネルギーだけで  
はなく、「一人ひとりがもつエネ  
ルギー」を生かす運動でした。  
山形県の再エネ推進事業がめざ  
すべきものを見た思いでした。や  
まエネネットに改めて期待。  
☆24日(火)県福祉保育労働組合の  
県に対する要望提出に出席。一時  
間半余りに渡って、現場の事情に  
関の担当各課が耳を傾けました。  
☆同じく24日、庄交価値創造研究  
所設立式に出席。地域の観光資源  
を調査・研究し、魅力ある観光商  
品の開発を図るということで多く  
の出席者が詰めかけました。観光  
振興では、誘客とともに、地域に  
お金が循環する観光の仕組みが必  
要です。(県議 関 徹)